

intra-mart Webplatform/AppFramework
Ver.7.2

ドキュメントワークフロー for Smartphone **操作ガイド**

変更履歴

変更年月日

変更内容

2011/1/31 初版

Contents

第1章	ワークフローの概要と操作	1
1.1	ワークフローの概要	2
1.2	ドキュメントワークフローの操作	3
1.2.1	スマートフォン版におけるドキュメントワークフローの操作の流れ	3
1.2.2	起票(申請)状況の確認	3
1.2.3	審議の操作	5
1.2.4	処理済み案件の確認	7
1.2.5	参照画面の確認	9
第2章	制限事項	11
2.1	制限事項	12

第1章 ワークフローの概要と操作

1.1

ワークフローの概要

本ガイドではPC版でのご利用方法のご理解を前提に、スマートフォン版の画面の操作方法を説明しています。ワークフローの動作や考え方については別紙「ワークフロー 操作ガイド」を参照してください。

スマートフォン版の画面ではドキュメントワークフロー（フレームタイプ標準）の案件について承認や引戻しなどの操作を行うことが出来ます。ビジネスプロセスワークフローとして定義されたプロセスやドキュメントワークフローの中でもフレームタイプがカスタムで定義されているプロセスについては、各種一覧から参照することは出来ますが、承認などの操作を行うことが出来ません。（その他、PC版と比較して使用できない機能の詳細は制限事項の章を参照してください）

以降の節ではドキュメントワークフローでかつフレームタイプが標準の案件についての画面での操作方法を説明します。

1.2

ドキュメントワークフローの操作

本節ではドキュメントワークフロー（フレームタイプ標準）のプロセスの操作について説明します。



1.2.1 スマートフォン版におけるドキュメントワークフローの操作の流れ

PC版で申請を行った後の状態から、スマートフォン版で起票済みの内容を確認したり、自分へ依頼されている案件について審議操作を行うことができます。



1.2.2 起票(申請)状況の確認

PC版の画面で、自分で起票した案件を[起票済み]画面で参照することができます。[起票済み]画面を開くと、まず最初に自分が起票した案件の一覧が表示されます。







<起票済み案件一覧>

案件をタップすると、画面がスライドして案件の内容表示になり、案件の情報が表示されます。



<起票済み案件の内容表示>

案件の画面に表示される項目は、PC版の[起票済み]画面で一覧表示項目設定で設定した内容に準じます。

 引戻し	案件の引戻しを実行します(後述)
案件番号	案件固有の番号です。
プロセス定義	案件のプロセス定義の名前を表示します。
案件名	起票の際に申請者が入力する案件名を表示します。
状態	案件の現在の状態を表示します。
 詳細	タップすると案件の詳細情報(ユーザコンテンツ)を別のウィンドウで開きます。この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。
 フロー	タップすると案件のフロー情報を別のウィンドウで開きます。この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。
 履歴	タップするとこの案件の処理された履歴情報を別のウィンドウで開きます。この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。
起票日	この案件が起票された日付を表示します。
現在の処理者	現時点のこの案件の処理対象者を表示します。
カテゴリ	この案件のプロセスが属しているカテゴリを表示します。
バージョン	このフローのバージョンを表示します。
起票コメント	起票の際に申請者が入力したコメントを表示します。
代理処理者	案件が代理の申請者によって起票されていた場合、そのユーザ名を表示します。

1.2.2.1 引戻しの操作

引戻しとは、利用者が処理を行ったノードの次に接続されているノードの処理対象者が処理を行う前に、自ノードに処理を戻す処理のことです。引戻しのアイコンが表示されている行をタップすると、対象の案件が引き戻し可能な状態であれば引戻し操作が実行されます。引戻しを実行した後、再度同じ案件を表示して確認すると、状態が引き戻し済みになっていることが確認できます。

※ 既に別の承認者によって審議されている場合など、引戻しを実行しても処理できない場合があります。最新情報に更新して再確認してください。



1.2.3 審議の操作

[未処理]画面を開くと、ユーザが審議しなければならない案件が一覧として表示されます。[起票済み]画面同様、最初に案件名等の一覧が表示され、タップすることでより詳細な情報を見ることが出来ます。



<未処理案件一覧>

案件の内容は以下のように表示されます。



<未処理案件の内容表示>

内容に表示される項目はPC版の画面の設定によります。

 処理	審議画面を表示して案件の処理を行います(後述)
案件番号	案件固有の番号です。
プロセス定義	案件のプロセス定義の名前を表示します。
案件名	起票の際に申請者が入力する案件名を表示します。
状態	案件の現在の状態を表示します。
 詳細	タップすると案件の詳細情報(ユーザコンテンツ)を別のウィンドウで開きます。この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。
 フロー	タップすると案件のフロー情報を別のウィンドウで開きます。 この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。
 履歴	タップするとこの案件の処理された履歴情報を別のウィンドウで開きます。この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。
起票日	この案件が起票された日付を表示します。
代理依頼先	代理設定をしている場合、依頼先のユーザが表示されます。
処理期限	現在のタスクの処理期限を表示します。
起票者	案件を起票したユーザを表示します。
カテゴリ	この案件のプロセスが属しているカテゴリを表示します。
バージョン	このフローのバージョンを表示します。
タスク名	この案件の現在のタスクに設定されている名前を表示します。
前処理タスク名	この案件を直前に処理したタスクの名前を表示します。
前処理者名	この案件を直前に処理した処理者の名前を表示します。

審議可能な案件の場合、案件の詳細情報の中に[処理]アイコンが表示されます。ここをタップすると審議の内容を決定する為の審議画面が開きます。

案件のプロセス定義がビジネスプロセスワークフローであったり、ドキュメントワークフローでもフレームタイプがカスタムに設定されている場合、[処理]アイコンをタップしても処理を行うことは出来ません。

1.2.3.1 審議画面の操作

審議画面では対象の案件の内容を確認し、処理を選択して実行することができます。



<審議画面>

内容確認

案件の詳細を別のウィンドウで表示します。

この画面はPCと同じレイアウトで表示されます。

案件名

申請者が起票時に入力したこの案件の名称を表示します。

申請者

申請者の名前を表示します。

申請コメント

申請者が起票時に入力したコメントを表示します。

フロー参照

タップすると案件のフロー情報を別のウィンドウで開きます。

この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。

審議内容

「承認」「否認」「申請者へ差戻し」「直前の処理者へ差戻し」「保留」から審議の内容を選択します。

審議コメント

タップすると審議コメントを入力する画面を表示します。審議についてのコメントを入力します。

終了

ONにして承認を行うと、この案件はここで承認終了となります。プロセス定義で終了が有効になっていない場合は表示されません。

所属

審議を実行する際の自分の所属を選択します。

審議ボタン

入力した内容で審議を実行します。



1.2.4 処理済み案件の確認

[処理済み]画面にはログインユーザが処理した案件の一覧が表示されます。この画面では処理済みの案件に対して案件の現状の状態確認、引き戻しの操作が行えます。



<処理済み案件一覧>

案件をタップすると、処理済みの案件の内容表示に遷移します。



<処理済み案件の内容表示>

内容に表示される項目はPC版の画面の設定によります。

引戻し

案件の引戻しを実行します(後述)

案件番号

案件固有の番号です。

プロセス定義

案件のプロセス定義の名前を表示します。

案件名

起票の際に申請者が入力する案件名を表示します。

状態

案件の現在の状態を表示します。

詳細

タップすると案件の詳細情報(ユーザコンテンツ)を別のウィンドウで開きます。この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。

フロー

タップすると案件のフロー情報を別のウィンドウで開きます。

この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます

履歴

起票日

タップするとこの案件の処理された履歴情報を別のウィンドウで開きます。この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。

起票者

この案件が起票された日付を表示します。

処理日

起票者の名前を表示します。

処理結果

処理を実行した日付を表示します。

処理コメント

処理を実行した際に選択した審議内容を表示します。

代理処理者

処理を実行した際に入力したコメントを表示します。

タスク名

案件が代理の処理者によって処理されていた場合、そのユーザ名を表示します。

カテゴリ

処理を行ったタスクのタスク名を表示します。

バージョン

案件のプロセス定義が属しているカテゴリを表示します。

案件のプロセス定義のバージョンを表示します。

1.2.4.1 引き戻しの操作

引戻しのアイコンが表示されている行をタップすると、対象の案件が引き戻し可能な状態であれば引戻し操作が実行されます。引き戻しが完了すると再度未処理画面から処理することができます。

※ 既に別の承認者によって審議されている場合など、引戻しを実行しても処理できない場合があります。最新情報に更新して再確認してください。



1.2.5 参照画面の確認

ワークフローのルート中に参照権限として設定されていた場合、PC版の画面同様[参照]画面からその内容を参照する事ができます。この画面では案件の内容とステータスの確認が行えます。






<参照案件一覧>

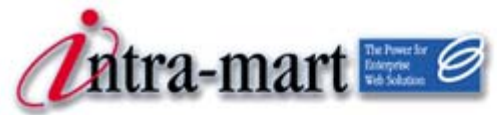
案件をタップすると、案件の内容表示に遷移します。



<参照案件の内容表示>

内容に表示される項目はPC版の画面の設定によります。

案件番号	案件固有の番号です。
プロセス定義	案件のプロセス定義の名前を表示します。
案件名	起票の際に申請者が入力する案件名を表示します。
状態	案件の現在の状態を表示します。
 詳細	タップすると案件の詳細情報(ユーザコンテンツ)を別のウィンドウで開きます。この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。
 フロー	タップすると案件のフロー情報を別のウィンドウで開きます。 この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。
 履歴	タップするとこの案件の処理された履歴情報を別のウィンドウで開きます。この画面はPC版と同じレイアウトで表示されます。
起票者	この案件を起票したユーザを表示します。
起票日	この案件が起票された日付を表示します。
カテゴリ	この案件のプロセスが属しているカテゴリを表示します。
バージョン	このフローのバージョンを表示します。



intra-mart WebPlatform/AppFramework

第2章 制限事項

2.1

制限事項

ここでは、ドキュメントワークフロー for Smartphoneの制限事項を記述します。

- ❖ 申請／再申請／振替 処理は行えません。
- ❖ 代理権限による操作は行えません。
- ❖ 処理や引き戻しなどの際の根回しメールを送ることはできません。
- ❖ 添付ファイルは端末のブラウザが対応しているファイルタイプのみダウンロードして表示する事ができます。
- ❖ 処理を行う場合、以下の制限があります。
 - 処理しようとしている案件が下記のいずれかに合致する場合、審議しようとしてもエラー画面が表示されます
 - ◇ 案件のプロセス定義がビジネスプロセスワークフローとして定義されている
 - ◇ 案件のプロセス定義がドキュメントワークフローだが、フレームタイプがカスタムに設定されている
 - 処理しようとしている案件が下記のいずれかに合致する場合、審議画面で「承認」を実行できません
 - ◇ 次のタスクがルート作成である
 - ◇ 次のタスクが実行時選択である
- ❖ iPhone の Safari でご利用の場合、Safari のデバッグコンソールを ON にし、なおかつ端末を横にした状態で、ワークフローの詳細画面（別ウィンドウ表示される PC 版同様の画面）を表示すると、本来画面の下半分に表示されるべきユーザコンテンツが表示されません。デバッグコンソールを OFF にするか、端末を縦にしてご利用下さい。
- ❖ 各一覧のソート条件は下記のように設定されています。一覧表示項目の設定などを変更し、下記の項目を表示しない設定にすると「案件番号(process_cd)」の降順となります。

画面名	ソート項目
起票済み一覧	起票日(降順)
未処理一覧	起票日(降順)
処理済み一覧	処理日(降順)
参照一覧	起票日(降順)



intra-mart Webplatform/AppFramework Ver.7.2

2011/1/31 初版

ドキュメントワークフロー for Smartphone 操作ガイド

株式会社 NTT データ イントラマート

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー本館 3階

TEL(03)5549-2821 FAX(03)5549-2816

E-mail : info@intra-mart.jp

ホームページ : <http://www.intra-mart.jp>

Copyright 2000-2011 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.
